

令和4年度当初予算案の概要

令和4年2月4日

予算の特徴

未来の飛躍を約束する予算

◎令和4年度当初予算の戦略的重点事業

I. 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ワクチン接種、感染対策及び生活支援など、機動的かつ迅速に対策を講じていく

II. 総合計画を推進するための「3本の柱」

① 市民の皆様を守るための「防災力の強化」

- ・消防本部機能の高台移転 ・避難対策の推進 ・国土強靱化の推進 など

② 時代に対応したサービスを市民の皆様へ提供するための「スマート自治体への転換」

- ・行政事務・窓口サービス等のデジタル化 ・自動運転、MaaS など

③ 持続可能なまちを創造していくための「安定した財政基盤の確立」

- ・大山田PAのスマートインターチェンジ化 ・企業誘致の推進 など

III. 「重点プロジェクト」の推進

- ・桑名駅周辺施設整備 ・多度地区小中一貫校整備 ・地域コミュニティ推進 など

IV. 「誰一人取り残さない」まちへ

- ・SDGsの理念 持続可能な社会の実現

V. ゼロカーボンシティの実現に向けて

- ・市役所本庁舎に再生可能エネルギーの導入
- ・公用車の次世代自動車への転換
- ・オンサイトPPAを活用した公共施設への電力供給
- ・太陽光発電設備等共同購入事業 など

予算の規模

- ◆ 令和4年度 一般会計当初予算 526.7億円
 (令和3年度対比 6.5億円、1.2%の【増】)

当初予算規模の推移

(単位：千円)

当初予算	H30	R1	R2	R3	R4
予算額	51,845,011	50,617,193	50,815,449	52,027,111	52,674,172
増減率	▲2.0%	▲2.4%	0.4%	2.4%	1.2%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 12.8億円、6.3%【増】の 216.0億円
- ・ 市民税 99.2億円 (R3 90.7億円、9.4%)
 - 個人 89.5億円 (R3 83.5億円、7.1%)
 - 法人 9.7億円 (R3 7.1億円、35.8%)
 - ・ 固定資産税 94.4億円 (R3 90.3億円、4.5%)
 - 土地(現年) 32.0億円 (R3 32.2億円、▲0.8%)
 - 家屋(現年) 41.3億円 (R3 41.1億円、0.5%)
 - 償却(現年) 20.0億円 (R3 15.8億円、26.7%)

地方消費税交付金の状況

- ◆ 地方消費税交付金は、前年度対比で 0.8億円、2.9%【増】の 29.6億円

地方交付税及び臨時財政対策債の状況

- ◆ 地方交付税及び臨時財政対策債は、前年度対比で 18.7億円、36.1%【減】の 57.1億円

→ 地方交付税 + 臨時財政対策債

= 57.1億円 (R3 75.8億円、▲24.7%)

- ・ 地方交付税 47.4億円 (R3 45.8億円、3.5%)
 - 普通交付税 39.8億円 (R3 37.8億円、5.3%)
 - 特別交付税 7.6億円 (R3 8.0億円、▲5.0%)
- ・ 臨時財政対策債 9.7億円 (R3 30.0億円、▲67.7%)

繰入金の状況

◆ 繰入金は、前年度対比で 3.7 億円、13.9%【増】の 30.4 億円

・財政調整基金繰入金 14.5 億円 (R3 11.8 億円、23.5%)

令和2年度末 財政調整基金残高 決算 43.4 億円

令和3年度末 財政調整基金残高見込み 46.1 億円

年度末財政調整基金残高の推移

	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算見込み
年度末財政調整基金残高	42.2 億円	45.9 億円	43.4 億円	46.1 億円

市債の状況

◆ 市債は、前年度対比で 26.9 億円、42.2%【減】の 36.9 億円

・臨時財政対策債 9.7 億円 (R3 30.0 億円、▲67.7%)

・公共施設等適正管理推進事業債

12.9 億円 (R3 18.8 億円、▲31.4%)

・緊急防災・減災事業債 6.8 億円 (R3 0.6 億円、1,033.3%)

・合併特例事業債 0.1 億円 (R3 10.3 億円、▲99.0%)

起債額の推移

	H30 当初	R1 当初	R2 当初	R3 当初	R4 当初
一般会計	59.1 億円	46.3 億円	43.0 億円	63.9 億円	36.9 億円
うち臨財債	18.0 億円	16.2 億円	17.2 億円	30.0 億円	9.7 億円

年度末市債残高の推移

	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 決算見込み	R4 当初
一般会計	551.3 億円	545.9 億円	551.6 億円	546.8 億円	526.4 億円
うち臨財債	255.7 億円	253.1 億円	251.7 億円	258.1 億円	247.3 億円

義務的経費の状況

- ◆ 義務的経費は、前年度対比で 2.8 億円、1.0%【増】の 279.2 億円
- ・人件費 100.1 億円 (R3 101.6 億円、▲1.5%)
 - ・扶助費 119.2 億円 (R3 115.8 億円、2.9%)
 - ・公債費 59.9 億円 (R3 59.0 億円、1.6%)

公債費の推移

当初予算	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計	60.7 億円	61.9 億円	59.4 億円	59.0 億円	59.9 億円

投資的経費の状況

- ◆ 投資的経費は、前年度対比で 4.0 億円、7.8%【減】の 47.7 億円

投資的経費の推移 (下段は対前年度比)

当初予算	H30	R1	R2	R3	R4
一般会計	70.5 億円	60.4 億円	52.3 億円	51.7 億円	47.7 億円
	56.4%	▲14.3%	▲13.5%	▲1.1%	▲7.8%

その他の経費の状況

- ◆ その他経費は、前年度対比で 7.7 億円、4.0%【増】の 199.9 億円
- ・物件費 82.4 億円 (R3 75.7 億円、9.0%)
 - ・維持補修費 4.5 億円 (R3 5.7 億円、▲21.6%)
 - ・補助費等 62.8 億円 (R3 57.6 億円、9.1%)
 - ・積立金 5.9 億円 (R3 5.9 億円、▲0.5%)
 - ・繰出金 43.3 億円 (R3 46.4 億円、▲6.6%)
 - ・その他 (貸付金 0.6 億円、予備費 0.3 億円)